

3, シン・バリュー

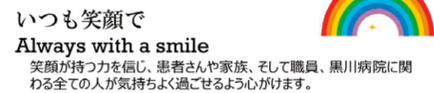
当初は、ミッション・ビジョンだけを作る予定でしたが、ミッション・ビジョンと日々の仕事をつなぐ架け橋として、バリューも策定する事になりました。

職員に「あなたが、毎日の仕事で大切にしていることは何ですか？」と問いかけ、投稿された価値観を整理し、19のシン・バリュー案が出来上がりました。

バリュー案を職員通用品に掲示し、全職員にシール貼付による投票を呼びかけた結果、7つのシン・バリューが決まりました。

| 公立黒川病院 シン・バリュー | |
|----------------|-----------------------------|
| いつも笑顔で | Always with a smile |
| それぞれの価値観を大切に | Respect other's beliefs |
| 相手の立場に立つ | Respect for everyone |
| 思いやりと感謝 | Consideration and Gratitude |
| 寄り添いと思いやり | Compassionate Support |
| 最適な「医療」 | Quality Healthcare |
| 自分らしく楽しく | Be yourself and have fun |

月間バリュー 11月・12月



トイレに行くたびに笑顔トレーニングしましょう！

4, シン・MVVの浸透・実践

MVV浸透のため、2024年12月から「月間バリュー作戦」を開始しました。その月のバリューを定め、各部署でバリューを実践するためのアクションプランを考え、実行しています。

「私たち一人ひとりとは違っていても、同じミッション・ビジョン・バリューのもとで力を合わせられる」そう信じて、地域のために今日も頑張りたいと思います。

* シン・MVVの動画は、HP・Instagramで絶賛公開中！
こちらから御覧ください。

動画

Instagram

外来診療担当表

令和7年6月現在
〈受付時間〉午前8:00~11:30 午後1:30~4:00
※診療科によって一部異なります

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--|----|---------------------------------------|---------------------|----------------|-------------------------|------------------------|-----|
| 内科 総合診療科 (院内標榜) ◆土曜日受付 8:30~11:30 ※1 第2・4月曜診察 ※2 第1・3・5月曜診察 ※3 原則予約制 | 午前 | 角田・松尾 荒木・大友 金澤(※1) 中村(児)(※1) | 南家・横道 筒井・岡 植田 | 角田・大友 高橋・吉村 | 角田・高橋 福住・金澤 中村(浩) | 南家・横道 東北大医師 応援医師 | 交代制 |
| | 午後 | 筒井・村中 高橋(※2) 中村(児)(※1) | 高橋・植田 吉村 | 高橋・福住 中村(浩) | 横道(※3) 東北大医師 | 荒木・大友 応援医師 | |
| 小児科 ◆発達相談予約制 | 午前 | — | — | 岩城 | 岩城 | — | — |
| | 午後 | — | — | 岩城 | 岩城 | — | — |
| 外科 | 午前 | 芳賀 東北大医師 | 松本 東北大医師 | 芳賀 東北大医師 | 松本 応援医師 | 芳賀 応援医師 | — |
| | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| 整形外科 ◆初診受付 8:00~10:30(紹介状必要) ◆再来受付 8:00~11:00(予約制) | 午前 | 田中 | 東北大医師 | 東北大医師 | 田中 | 田中 | — |
| | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| 婦人科 ※4 午後予約制 | 午前 | 相良 | 相良 | 相良 | 相良 | 相良 | — |
| | 午後 | 相良(※4) | 相良(※4) | 相良(※4) | — | 相良(※4) | — |
| 耳鼻いんこう科 | 午前 | — | — | — | — | — | — |
| | 午後 | 東北大医師 | — | — | 東北大医師 | — | — |
| 眼科 ◆受付時間 8:00~11:00 | 午前 | 東北大医師 | — | 東北大医師 | — | — | — |
| | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| 皮膚科 | 午前 | — | 応援医師 | — | — | 応援医師 | — |
| | 午後 | — | — | — | — | — | — |
| 泌尿器科 ※5 第1・3・5金曜日休診 | 午前 | 田口 | 田口 | 田口 | 田口 | 田口(※5) | — |
| | 午後 | 田口 | — | 田口 | — | 田口(※5) | — |

※毎月最初の来院日には、**会計時に窓口へ**保険証の提示をお願いします。
※入院患者さんの急変や、医師の出張等により変更になる場合もありますので、院内掲示版やホームページ等でご確認ください。
※土曜午後・日・祝祭日は、全科休診です。急患はこの限りではありませんので、お電話にてお問合せください。

公益社団法人 地域医療振興協会
公立黒川病院
〒981-3682 宮城県黒川郡大和町吉岡字西松木60
TEL:022-345-3101 FAX:022-345-3143



緑風

Vol.32
Jun 2025

地域と共に Living with the community
地域と生きる living in the community
地域を守る protecting the community

公立黒川病院だより

発行：公立黒川病院
地域連携センター 地域連携室



公立黒川病院 管理者 角田 浩

巻頭言：最高の〇番手

我が家にテレビが初めて来た頃、世の中はグループサウンズ（電気楽器を中心に数人で編成される、演奏および歌唱を行うグループ）全盛だった。のちにソロで大活躍する沢田研二を擁するザ・タイガース、ドラマ「太陽にほえろ！」の若手刑事役で役者としても活躍した萩原健一がボーカルのザ・テンプターズ、そして、かまやつひろし、井上順、堺正章など有名人を輩出したザ・スパイダースなど芸能界はグループサウンズ一色だった記憶がある。

堺正章は、はやりすたれが激しい芸能界で1960年代から現在に至るまで活躍し続けている。歌手として「さらば恋人」「街の灯り」などをヒットさせ、役者としては、「時間ですよ」「西遊記」に出演し、正月には「新春かくし芸大会」で高難度のかくし芸を披露してTVを見ていた私はびっくりしたものである。最近では「世界一受けたい授業」の校長先生も務めている。長く芸能界にいられる理由はなんだろうと不思議に思い、その著書「最高の二番手」を読んだ。その中でこんなくだりがある。

「一位に固執しなければ、戦うべき相手は他人ではなく、自分自身になる。そうすれば、下を見る余裕も、

上を目指す探究心も併せ持ちながら、自分のペースでその場所ならではの味わいをじっくりと堪能することができる。また、二番でもいいのだと思えば、ガツガツとした焦燥感から解放されて、結果を残したライバルを心から認め、身構えることなく彼らと共存できるという楽しみもある。」

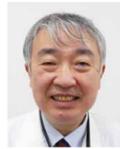
当院は高度急性期を担う立ち位置にはない。雑誌に掲載されるような病院でもない。しかし垣根なく全職種で問題解決を探る病院である。（できる範囲の）急性期から在宅ターミナルまで幅広く対応する病院である。規模の大きな病院からは急性期を過ぎた患者さんを紹介するとき、最初に思い浮かべてもらえる病院でありたい。クリニックの先生方からは「原因がよくわからない症状だが外来でフォローするには心配」という患者さんを紹介したくなる病院でありたい。

「普通の医療を普通に行い、地域に貢献する」困ったときに思い浮かべる何番手になるかはわからないが、地味でも今後もそんな病院でありたい。

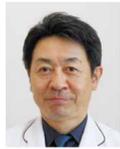
今年度もよろしく願いいたしますm(_)_m

常勤医師紹介

それぞれの専門分野を併せてご紹介いたします。

| | |
|--|-------------------------------|
|  | 管理者 かくた ひろし 角田 浩 |
|--|-------------------------------|

●専門分野
内科
●専門資格等
日本プライマリ・ケア連合学会指導医、日本睡眠学会睡眠医療認定医師、日本病院総合診療医学会認定医、精神保健指定医、ボトックス施注資格（痙縮、斜頸、多汗症）、義肢装具等適合判定医師、日本リハビリテーション医学会認定臨床医
●一言
日本睡眠時無呼吸症候群（SAS）、回復期リハビリ病棟についてのご相談、消化管内視鏡検査を担当しております。

| | |
|---|--------------------------------|
|  | 院長 たかはし ひろき 高橋 広喜 |
|---|--------------------------------|

●専門分野
総合診療科 消化器内科
●専門資格等
日本病院総合診療医学会理事・評議員・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医、日本消化器病学会専門医・東北支部評議員、日本消化器内視鏡学会専門医、日本外科学会認定登録医、日本医師会認定健康スポーツ医、ICD制度協議会ICD、臨床研修指導医
●一言
患者さんにわかりやすい説明と的確な医療が提供できるように心がけています。

| | |
|--|-----------------------------------|
|  | 副管理者 なんか しゅんぺい 南家 俊介 |
|--|-----------------------------------|

●専門分野
内科、循環器科
●一言
主に循環器疾患についての診療を行います。心エコー、ホルター心電図解析、冠動脈CTなどを担当します。

| | |
|---|--|
|  | 地域医療センター長 よこうち ひろあき 横道 弘直 |
|---|--|

●専門分野
内科、血液・免疫、総合診療、在宅医療
●専門資格等
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
●一言
入院/外来診療、訪問診療を担当します。

| | |
|--|----------------------------------|
|  | 副病院長 たぐち かつゆき 田口 勝行 |
|--|----------------------------------|

●専門分野
泌尿器科一般、尿路結石、前立腺肥大症、前立腺がん、尿路悪性腫瘍
●専門資格等
日本泌尿器科学会専門医
●一言
黒川地域唯一の泌尿器科として十分な医療を提供します。

| | |
|---|----------------------------------|
|  | 副病院長 たなか まさひこ 田中 正彦 |
|---|----------------------------------|

●専門分野
整形外科（股関節）
●専門資格等
日本認定医機構整形外科専門医
●一言
下肢関節の痛み、特に股関節の痛みで困っている患者さんがいましたらご相談ください。

| | |
|--|-------------------------------|
|  | 副病院長 はが いずみ 芳賀 泉 |
|--|-------------------------------|

●専門分野
一般外科、消化器外科
●専門資格等
外科専門医、マンモグラフィ読影認定医
●一言
一般外科および消化器外科を担当しています。地域の皆様に安心安全の医療を提供できますように努めてまいります。

| | |
|---|------------------------------------|
|  | 産婦人科 科長 さがら もりお 相良 守峰 |
|---|------------------------------------|

●専門分野
産婦人科
●専門資格等
産婦人科専門医、母体保護法指定医、産業医、日本専門医機構認定産婦人科専門医、医学博士、農学士
●一言
婦人科疾患全般を担当しています。

| | |
|--|------------------------------------|
|  | 健診室 室長 まつお ひでのり 松尾 英史 |
|--|------------------------------------|

●専門分野
内科一般、物忘れ・認知症
●専門資格等
認知症サポート医
●一言
健診、認知症サポート、内科医として活動しています。もの忘れに心配の方、ご相談ください。

| | |
|---|--------------------------------|
|  | 内科医 つづい みつほ 筒井 美穂 |
|---|--------------------------------|

●専門分野
内科一般、老年医学
●専門資格等
日本内科学会認定医、日本老年医学会認定老年科専門医、日本医師会認定産業医
●一言
内科一般、訪問診療・健診を中心に診療しています。高齢者診療についてお困りの事がありましたら、ご相談ください。

| | |
|--|----------------------------------|
|  | 外科医 まつもと しょうこ 松本 翔子 |
|--|----------------------------------|

●専門分野
一般外科
●一言
地域医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願致します。

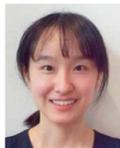
着任のご挨拶

| | |
|---|--------------------------------|
|  | 内科医 あらか きつき 荒木 沙月 |
|---|--------------------------------|

令和7年4月より公立黒川病院内科で勤務しております、荒木沙月と申します。多賀城市出身で、2018年に自治医科大学を卒業し、今年度で医師8年目になります。前任地は石巻市立病院で、救急・発熱外来を中心に診察しておりました。黒川地域での勤務は初めてですが、登山が趣味で七森や船形山に度々遊びにきているため、親近感を感じております。特に春は笹倉山のイワウチワや鎌倉山のニリンソウなど豊富な山岳植物を見るのが出来るため、毎年訪れていました。馴染みのある美しい山々が近くにあり、自然豊かな土地で勤務させていただけることを大変嬉しく思っております。

現在は、一般内科・総合診療を中心に勉強しており、週に1回仙台医療センター総合診療科で研修しています。年齢や疾患を問わず、様々な患者さんを診察出来るようになることが目標です。今年度からは訪問診療に携わらせていただくことになったため、これまで以上に患者さんの背景や地域の特性について把握していく必要があると思います。多職種の方々の力をお借りして、地域の皆様に適切な治療・診断を行えるよう精進していきたいと思っております。

近隣の医療機関・施設の関係者の皆様には、多くの場面でのお世話になるかと思っております。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

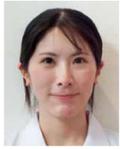
| | |
|--|---------------------------------|
|  | 内科医 よしむら みずき 吉村 瑞希 |
|--|---------------------------------|

令和7年4月より公立黒川病院の内科に勤務しております、吉村瑞希と申します。現在は医師5年目になりました。生まれは栃木県、幼少期は岐阜県揖斐斐川町で、中学高校時代は岐阜市で、大学は福岡県久留米市で過ごしました。その後は、地域医療振興協会の東北医療センターで初期研修を行い、現在は総合診療専門研修プログラム「地域医療のススメ」の専攻医をしています。総合診療・家庭医療の専門医取得を目指して修業中です。これまでは、協会施設の台東区立台東病院や練馬光が丘病院に勤務し、総合診療科・小児科・救急科・集中治療科等で研修を行いました。今後は令和8年3月末までの1年間、黒川病院で研修をさせていただきます予定です。

全国を転々とし様々な地域で過ごしてきましたが、東北地方に住むのは初めての経験です。着任が決まった時には不安もありましたが、穏やかで美しい景色や美味しい食べ物、地域の皆様の優しさに触れ、居心地の良い環境で研修をさせていただけることに感謝の気持ちで一杯です。住み始めてまだ1か月ですが、既に大好きな地域になりました。病棟業務に加えて、外来や訪問診療を担当させていただくことになり、近隣の医療機関の皆様には今後お世話になる機会が多いと思います。1年間と限られた期間ではありますが、一人ひとりの患者様との出会いを大切に、多くの学びを得て地域の皆様に適切な医療を提供できるよう努力してまいります。至らない点もあるかと思っております、ご指導のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

| | |
|--|-------------------------------|
|  | 内科医 おとも りな 大友 莉那 |
|--|-------------------------------|

●専門分野
内科
●一言
内科外来、入院を担当します。よろしくお願致します。

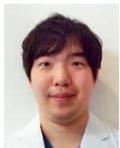
| | |
|---|----------------------------------|
|  | 内科医 ふくずみ みさき 福住 美早樹 |
|---|----------------------------------|

令和7年4月1日より公立黒川病院の内科で勤務しております、福住美早樹と申します。本年度で医師6年目です。前年度は山梨県上野原市にあり、上野原市立病院の内科で勤務していました。初診外来、再診外来、病棟、救急外来、訪問診療に携わってきました。

私は奈良県奈良市の出身で、奈良県立医科大学を卒業しています。東大寺や奈良公園の近隣で人生の大半を過ごしてきました。初期研修を修了後は専門医プログラムのご縁で、奈良県の他に福岡県、山梨県で勤務しました。そして現在の宮城県に至ります。東北地方へは修学旅行で訪れたことがある程度であり、正直なところ自分が東北地方で暮らす日が来るとは考えたこともありませんでした。しかし、いざ暮らしてみるとまさに住めば都です。まだまだ知らないことが山のようにありますが、この地域に溶け込むことができたいなと思っています。

黒川地域の土地柄としては、都会の仙台市医療圏に近く、適切な急性期治療を速やかに受けられるところだという印象を受けています。一方で車社会でもあり高齢者世帯にとっては仙台市医療圏への通院は負担だろうとも思います。患者さん一人ひとりの生き方を考えてもらいながら、ニーズを把握して残りの人生を生きやすくするためのお手伝いをしたいです。

以上、簡単ではございますが着任の挨拶とさせていただきます。まだまだ未熟で至らない点があるかと思っております。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

| | |
|--|------------------------------------|
|  | 内科医 なかむら こうじろう 中村 浩史郎 |
|--|------------------------------------|

令和7年4月より内科で勤務しております、中村浩史郎と申します。医師5年目で、この度公立黒川病院へご縁をいただき6か月間勤務させていただきましたことになりました。

出身は東京都で日本大学医学部を卒業後、同大学病院で初期研修を行いました。その後総合診療と家庭医療を専門とするため、黒川病院の系列施設である東北医療センターの総合診療科を拠点に専門研修を行っています。総合診療科とは日本では2018年から正式に認められた一番新しい診療科で、一言でいうと「まるごと診る専門家」です。臓器や分野にとらわれずあらゆる疾患を「まるごと診る」、病の根っこにある家族や生活の背景を「まるごと診る」、町や地域全体の健康を「まるごと診る」ことを得意分野としています。日本ではまだまだ馴染みがありませんが、アメリカやヨーロッパでは「家庭医 (FP: Family Practitioner, GP: General Practitioner)」という名で幅広く知られている歴とした専門医です。

これまで人生の大半を関東地方で過ごしてきた私にとって今回が初めての東北地方での生活であり、その中でもこの黒川地域の医療に携わることができることを大変うれしく思っています。当院では外来、病棟、訪問診療を担当しており、日々患者さんやご家族の方々、関わって下さる皆様と接する中で、とても人間味あふれる暖かな地域だと感じると同時に、皆様のためにながでできるかを考え、悩み、勉強する日々を送っています。近隣の医療機関や施設の皆様には様々な場面でお世話になることが多々あると思います。不慣れな点や至らない点も数多くあるかと存じますが、1日でも早く地域に馴染み、皆様の力となれますよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

公立黒川病院のミッション・ビジョン・バリュー(MVV) ～皆で取り組んだシン・MVV作成の軌跡～

地域医療センター長 横道 弘直

2024年10月、公立黒川病院の新しいミッション・ビジョン・バリュー (MVV) が決まりました。「皆で考えよう」をテーマに、半年をかけた延べ参加者数876人の壮大なプロジェクトでした。



1. はじまりは「いつも赤字」

公立黒川病院は、急性期から在宅まで幅広い領域で、地域のために患者・家族中心の医療・介護を提供してきました。職員は皆、目の前の患者さん・ご家族にとっての「最善」を模索しつつ、献身的に働いてきましたが、病院経営は赤字が続いていました。

そんな病院に2024年3月、地域医療振興協会から愛のメッセージが届きました。

“ミッション・ビジョンを新たに決め、
職員が同じ方向を向いて
この地域で求められる医療を進めよう！”

こうして、病院のシン・ミッション、シン・ビジョンを創るプロジェクトMVが立ち上がりました。シンには、「新しい」「信頼できる」「真実な」「心にとどく」の想いを重ねています。

2. シン・ミッション、シン・ビジョン

ミッション・ビジョンの策定にあたっては、できるだけ多くの職員が共感・実践できるように、職員全体で考えることを最大のテーマとして取り組みました。

まずは、ワークショップでミッションの土台となる「キーワード」を考えました。

その後、院内8つのブロックから「ミッション案作成チーム」を選出し、ワークショップで挙げられた「キーワード」を用いたミッション案を募集、有志チームを含む11チームから15案が応募されました。

作成されたシン・ミッション案について、全職員による投票を行いました。179人（職員全体の7割）の職員が投票に参加し、シン・ミッションが決定しました。

ビジョンも同様の手順で策定、こうして出来上がったシン・ミッション／ビジョンがこちらです。